

平成30年度

道德授業地区公開講座

学習指導案



平成30年6月23日(土)

八丈町立三原小学校・三原中学校

平成30年度 道徳授業地区公開講座授業一覧

校時	学年	教材名	内容項目	授業者	場所
1	小1	うかんだ うかんだ	A 希望と勇気、 努力と強い意志	吉田 理恵	教室
1	小2	さかあがり できたよ	A 希望と勇気、 努力と強い意志	白井 清孝	教室
1	小3	一りん車にのれた	A 希望と勇気、 努力と強い意志	日野 由美子	教室
2	小4	いつか にじをかける	A 希望と勇気、 努力と強い意志	田中 佑季	教室
2	小5	感動したこと、それがぼくの作品～パブロ・ピカソ～	A 個性の伸長	富宅 剛太	教室
2	小6	紛争、貧困、環境破壊をなくすために 世界の子どもたちが語る20のヒント	A 希望と勇気、 努力と強い意志	山田 晋作	教室
2	全学年	もう一つのゴールネット	A 希望と勇気、 努力と強い意志	峯重 透	ホール

6月23日（土）の予定

※小中で2校時の始まりが違います。

三原小学校								三原中学校			
		1年	2年	3年	4年	5年	6年		1年	2年	3年
1	8:20~ 9:05	道徳	道徳	道徳	算数	理科	国語	8:20~ 9:10	数学	国語	理科
2	9:10~ 9:55	国語	音楽	国語	道徳	道徳	道徳	9:20~ 10:10	全校道徳		

3校時 講演会

10:20~11:20

講師：小田島理恵さん（車いすバスケットボール選手）

長野 志穂さん（コーチ）

演題：より高い目標とやり抜く強い意志

場所：三原小学校体育館 ※小中学生も参加します。

第1学年道徳科学習指導略案

日 時 平成30年6月23日(土) 1校時
 場 所 1年教室
 学 年 八丈町立三原小学校 第1学年(4名)
 授業者 教諭 吉田 理恵

- 1 主題名 「頑張る心」(内容項目 A 希望と勇気、努力と強い意志)
- 2 教材名 「うかんだ うかんだ」(東京書籍「新しい道徳」)
- 3 主題設定の理由(ねらいとする道徳的価値について)
 児童は自分の力を伸ばしたい、高めたいという願いをもっている。しかし、それを実現するために行動ができないことがある。また行動できても、上手くいかないことが起きると、諦めてしまう場合が多い。目標をもち、それを実践し努力し続けようとする心情を育てたい。
- 4 本時のねらい
 自分の目標に向かって、一生懸命努力し続けようとする実践し続けようとする心情を育てる。
- 5 展 開

	学習活動と中心発問(・予想される児童の反応)	○指導上の留意点
導 入	1 アンケート結果を知る。 (1) もっとできるようになりたいことはなんですか。 ・早寝早起き ・おうちの手伝い。 ・ひらがなをきれいに書くこと。 ・一輪車	○事前に児童から聞いておき、その結果を発表する。
展 開	2 教材「うかんだ うかんだ」を読んで話し合う。 (1) どうして悔しい気持ちになったのでしょうか。 ・できると思っていたのに、怖くなったから。 ・まわりの友達はできているのに、自分だけできないから。 ・プールの時間がつまらなくなりそうだから。 (2) どんな気持ちで毎日何度も練習したと思いますか。 ・みんなみたいに、もぐれるようになって一緒に泳ぎたい。 ・頑張ればできるようになるはず。 (・できるようになるかなという、不安な気持ち。) (・もう辞めちゃおうかな…という諦めの気持ち。) (3) 体が浮かんだとき、どんな気持ちになりましたか。 ・頑張って練習したら、うまくできるようになって嬉しい。 ・諦めないで良かったな。 ・やればできるんだ! ・できると気持ちがいいな。 (4) 先生やみんなは、どんな気持ちで拍手をしたのだと思いますか。 ・一生懸命、練習したんだあ。 ・わたしも、がんばらなきゃ! ・	○場面絵を見せながら教材提示する。 ○自分のすぐにはうまくできないときの気持ちを思い起こさせる。 ○「頑張りたい」という前向きな気もちと「もうダメかも」という後ろ向きな気もちが混ざっていることに気付かせる。 ○あきらめない私の強い気持ちをおさえる。 ○目標に向けて努力し、それを達成する喜びを思い起こさせる。また、新たな目標に向けてさらに努力しようとする前向きな気もちに気付かせる。 ○低学年の児童は、自分自身を客観視することが十分にできない。自分を見ている他者の存在もおさえることで、努力する意欲を伸ばしたい。
	3 自分が努力していることや、そのときの気持ちを発表する。 (1) 頑張っていることはありますか。どんな気持ちで頑張っていますか。	○難しいことや困難なことを頑張って乗り越えようとしているとき気持ちを振り返る。
終 末	4 教師の説話を聞く。	○ドラえもん 「あの日あの時 あのダルマ」

- 6 評価
 - ①一生懸命努力をし、目標を達成した主人公の気持ちに共感することができたか。
 - ②あきらめずに頑張ることについて、主人公の姿を通して考えることができたか。

第2学年道徳科学習指導略案

日 時 平成30年6月23日(土) 1校時
場 所 2年教室
学 年 八丈町立三原小学校 第2学年(5名)
授業者 主幹教諭 白井 清孝

- 1 主題名 「あきらめずにやりとげる」(内容項目 A 希望と勇気、努力と強い意志)
- 2 教材名 「さかあがり できたよ」(東京書籍「新しい道徳」)
- 3 主題設定の理由(ねらいとする道徳的価値について)
よりよく生きていくためには、常に自分自身を高めていこうと努力することが大切である。自分自身を高めるためには、目標が必要であり、自分で立てた目標に向けて努力するとともに、やるべきことはしっかりとやり抜く忍耐力も必要である。また、このことは、よりよい自己を実現しようとする向上心と結び付いてこそ、前向きな自己の生き方を形成することにつながっていく。
困難に直面してもあきらめずにやりとげようとする気持ちが、よりよい自己を実現するために重要であると考え、本主題を設定した。
- 4 本時のねらい
夏休みに毎日練習する私の気持ちを考えることを通して、自分で決めたことは最後までやり遂げようとする心情を育てる。
- 5 展 開

	学習活動と中心発問(・予想される児童の反応)	○指導上の留意点
導 入	1 アンケート結果を知る。 (1) みんなが頑張っていることは何でしょう。 ・早寝早起き ・給食を全部食べる。 ・字をきれいに書く。 ・計算練習。	○事前に児童から聞いておく。 ○これからできるようになりたいことについても触れる。
展 開	2 教材「さがあがり できたよ」を読んで話し合う。 (1) 一人で回れなかったとき、どんな気持ちだったでしょう。 ・何度やっても上手くいかない。 ・みほちゃんは、どうしてできるのかな。 ・みほちゃんは、どうやって練習したのかな。 ・私のできるようになりたい。 (2) 私はどんな気持ちで毎日練習したのでしょ う。 ・お母さん、ありがとう。頑張るよ。 ・上手く回るコツがあるんだ。 ・先生に手伝ってもらった時はできたから大丈夫。 ・絶対できるようになる。 ・あきらめないぞ。 (3) 逆上がりができるようになった私はどんな気持ちだったでしょう。 ・やっとできた。嬉しい。 ・頑張ってよかった。 ・みんなに早く見せたい。	○場面絵を見せながら教材提示する。 ○場面絵を掲示する。 ○体育の時間を思い出し、逆上がりが難しいことを確認する。 ○場面絵を提示する。 ○先生に支えられてできたことを確認する。 ○あきらめない私の強い気持ちをおさえる。 ○場面絵を掲示する。
	3 これからの自分について考える。 (1) これから頑張りたいことを書きましょう。 ・25メートル泳ぐ。 ・九九を覚える。	○ワークシートを配付する。
終 末	4 教師の説話	○高校2年生の時の話。

- 6 評価
 - ①毎日練習する私の気持ちに共感することができたか。
 - ②あきらめずに頑張ることについて、私の姿を通して考えることができたか。

第3学年道徳科学習指導略案

日 時 平成30年6月23日(土) 1校時
場 所 3年教室
学 年 八丈町立三原小学校 第3学年(10名)
授業者 主任教諭 日野 由美子

- 1 主題名 「あきらめずにやりとげる」(内容項目 A 希望と勇気、努力と強い意志)
- 2 教材名 「一りん車にのれた」(東京書籍「新しい道徳」)
- 3 主題設定の理由(ねらいとする道徳的価値について)

人が生きていく過程には、いろいろな目あてがある。大きな人生の目標から、日々の生活の中での小さな目あてまで、さまざまである。そのめあての達成のためには本人の努力はもちろん、たくさんの人の支えが必要であろう。みんなで話し合っただけで決めた3年生のクラス目標の一つに「何でもがんばる3年生」というのがある。その思いの中には、最後まであきらめずにいろいろなことにチャレンジしようという気持ちが込められている。自分自身の決意はもちろん、友達や、周囲の人の助けを原動力としながら、互いに励まし合っただけで目あてに向かってやり抜こうとする心情を育てたいと考え、本主題を設定した。

- 4 本時のねらい

一りん車クラブを見学した「わたし」の気持ち、それを見守る友達の姿を通して、友達と励まし合いながら、自分で決めたことは辛抱強くやり抜こうとする心情を育てる。

- 5 展 開

	学習活動と中心発問(・予想される児童の反応)	○指導上の留意点
導 入	1 友達が頑張っていたことを応援した経験について知る。 (1) みんなが頑張っていることは何でしょう。 ・野球の練習 ・計算の練習 ・アンサンブルの楽器の練習	○事前に児童からとったアンケートを紹介し、誰もが自分の意見をもって学習に臨めるようにする。
展 開	2 教材「一りん車にのれた」を読んで話し合う。 (1) 何度練習しても上手に乗れない「わたし」は、どんなことを考えていたでしょう。 ・何で練習してもできないの。もうやめよう ・久保田さんがうらやましい。 (2) 一りん車クラブを見学して、「わたし」は、どんな気持ちになったと思いますか。 ・わたしも、久保田さんのようにメリーゴーランドができるようになりたい。もう一度、練習をがんばってみよう。 (3) 頑張って練習している「わたし」を見て、久保田さんはどんなことを考えているのでしょうか。 ・アドバイスをしてあげよう ・頑張っていてえらいな。 (4) 手放して乗れるようになった「わたし」は、どんな気持ちだったでしょう。また、久保田さんは、その姿を見てどんな気持ちになったでしょう。 ・〈わたし〉うれしい。久保田さんに応援してもらって、諦めずに練習してよかった。 ・〈久保田さん〉一緒に練習してよかった。ゆきさんはえらい。	○場面絵を見せながら教材提示する。 ○場面絵を掲示する。 ○自分が一りん車を練習した経験で、大変だったこと等を思い出す。 ○場面絵を提示する。 ○なぜ、「わたし」が前向きな気持ちになったのか、久保田さんの気持ちに着目しながら考えるようにする。 ○「わたし」が頑張っているからこそ、久保田さんがアドバイスをしなくなったことに気付くようにする。 ○「わたし」と久保田さんの両方の気持ちを考え、「わたし」が努力できた原動力は久保田さんだったことを押さえる。 ○場面絵を掲示する。
	3 友達と「がんばっているでしょう」を交換する。 (1) 友達が頑張っていることを書いたカードに、励ましのメッセージを書きましょう。	○メッセージカード「がんばっているでしょう」を配付する。
終 末	4 友達と交換したカードを発表し合い、その感想も発表する。	○予め書いておいたそれぞれの「頑張っているカード」を配付する。

- 6 評価 ①自分でやろうと決めたことに向かって粘り強く努力する「わたし」の気持ちに共感できたか。
②友達が頑張っていることに目を向け、励まし合うよさになに気付くことができたか。

第4学年道徳科学習指導略案

日 時 平成30年6月23日(土) 2校時
場 所 4年教室
学 年 八丈町立三原小学校 第4学年(2名)
授業者 田中 佑季

1 主題名 「夢をかなえるために」(内容項目 A 希望と勇気、努力と強い意志)

2 教材名 「いつかにじをかける」(東京書籍「新しい道徳」)

3 主題設定の理由(ねらいとする道徳的価値について)

自分で決めた目標を達成したり、夢や希望がかなったりしたときの喜びはとても大きなものである。しかし、この時期の児童は、物事に対して興味・関心は強いが、持続して努力することは難しく、容易に諦めてしまう児童もいる。「目標に向かって粘り強く取り組むこと」や「自分から積極的に取り組んだり、困難に耐えて最後までやり遂げたりすること」の大切さに気づけるようにし、目標達成に向けて努力しようとする心情を育てたいと考え、本主題を設定した。

4 本時のねらい

自分で立てた目標に向かって、粘り強くやり遂げようとする心情を育てる。

5 展 開

	学習活動と中心発問(・予想される児童の反応)	○指導上の留意点	
導 入	1 登場人物について知っていることを発表する。 (1) この人について知っていますか。 ・高橋選手 ・マラソン選手	○高橋尚子選手の写真を見せ、教材への関心を高める。	
展 開	2 教材「いつかにじをかける」を読んで話し合う。 (1) 高橋選手がすばらしいのは、どんなところでしょう。 ・何回もまめができて練習を続けた。 ・むねが苦しくても走る練習を続けた。 ・厳しい練習を毎日続けた。 (2) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>体が悲鳴をあげるほど厳しい練習でも、我慢して走り続ける高橋選手は、どんなことを考えていたでしょう。</td> </tr> </table> ・夢をかなえるためには、辛くても続ける。 ・勝ちたいから、練習する。 (3) 高橋選手が言っている虹とはなんでしょう。 ・夢をかなえること ・オリンピックで金メダルを取ること。	体が悲鳴をあげるほど厳しい練習でも、我慢して走り続ける高橋選手は、どんなことを考えていたでしょう。	○場面画像を掲示する。 ○高地トレーニングの過酷さについて補足し、高橋選手の意志の強さに気づかせる。 ○夢がかなった高橋選手に共感するとともに、ここまで支えてくれた人たちがいることにも気づかせる。
体が悲鳴をあげるほど厳しい練習でも、我慢して走り続ける高橋選手は、どんなことを考えていたでしょう。			
	3 夢や目標の実現について話し合う。 (1) 夢や目標に向かって頑張っていることや、これから頑張りたいことを書きましよう。 ・卓球の練習 ・英会話	○ワークシートを配付する。	
終 末	4 教師の説話		

6 評価

- ①夢や目標を達成するために、困難なことに会っても、くじけずに続けていくことが大切であることに、気づいているか。
- ②自分も夢や目標の実現のために頑張っていこうという意欲を高めているか。

第5学年道徳科学習指導略案

日 時 平成30年6月23日(土) 2校時
場 所 5年教室
学 年 八丈町立三原小学校 第5学年(11名)
授業者 主任教諭 富宅 剛太

- 1 主題名 「自分の特徴を見つめて」(内容項目 A 個性の伸長)
- 2 教材名 「感動したこと、それがぼくの作品～パブロ・ピカソ～」(東京書籍「新しい道徳」)
- 3 主題設定の理由(ねらいとする道徳的価値について)
個性とは、個人特有の性格や特徴である。人はだれでもその人ならではのよさをもっている。そのよさを個性として伸ばしていくことは、将来にわたって自己実現を果たせるようにするためにも重要である。自分の長所を理解し、さらに積極的に伸ばそうとする心情を育てたいと思い、この主題を設定した。
- 4 本時のねらい
自分の長所を知り、よりよく伸ばそうとする心情を育てる。
- 5 展 開

	学習活動と中心発問(・予想される児童の反応)	○指導上の留意点
導 入	1 自分の得意なことについて発表する。 (1) 得意なことは何ですか。 ・サッカー ・野球 ・バスケットボール ・卓球 など ・ピアノ ・ダンス ・習字 ・ゲーム ・釣り など	○事前に、児童に友達のことに関するアンケートを実施しておく。 ○習い事や趣味だけでなく、人を笑わせる、整理整頓ができるなどの日常的事業でもよい。
展 開	2 教材「感動したこと、それが僕の作品」を読んで話し合う。 (1) 人のためではなく、自分のために描きたい。 自分が描きたいものを描きたい。 お金や地位のために描いているのではない。 (2) 「ぼくにとって、感動したこと、それが作品なんだ。」とは どうということなのか、ピカソの考えについて話し合う。 ・自分の作品についてあれこれ言われたくない。 ・自分が感動しなければ描けない。 ・誰が何と言おうと自分は自分のために描く。 ・絵は心の鏡なんだ。 ・あきらめないぞ。 (3) 周囲に理解されない絵を描こうとしなかったピカソは「個性的」か「わがまま」かを考える。 ・みんなが描けない絵を描けるから個性的だ。 ・人の意見を聴かないのは、わがままだ。 (4) 今の自分は「個性的」か「わがまま」か、どちらでもないか、それとも両方かを考える。	○場面絵、ピカソの資料等を見せながら教材提示をする。 ○場面絵を掲示する。 ○たとえ非難されても、自分が感動したことだけを作品に表すという信念を曲げないピカソの強さに気付けるようにする。 ○ピカソの作品を掲示する。 ○自分の好きなように絵を描いているだけでなく、自分の思いを絵によって表現したピカソの人間性を考える。 ○カードを作成し、黒板に掲示する。 ○よい意味の「個性的」とは何かを考えられるようにする。
	3 これからの自分について考える。 (1) 好きなことを続けて「個性的」な自分になっていくために大切にしたいことを書く。	○ワークシートを配付する。 ○どのような人になりたいか具体的に考えさせられるようにする。
終 末	4 教師の説話	○続けてきてよかったことを話す。

- 6 評価
 - ①自分の思いを絵によって表現したピカソのよさについて考えることができていたか。
 - ②あきらめずに頑張ることについて、私の姿を通して考えることができたか。

第6学年道徳科学習指導略案

日 時 平成30年6月23日(土) 2校時
 場 所 6年教室
 学 年 八丈町立三原小学校 第6学年(8名)
 授業者 主任教諭 山田 晋作

- 1 主題名 「世界の受験生から学ぶ～ぼくらはなぜ勉強するのか～」
(内容項目 A 希望と勇気、努力と強い意志)
- 2 教材名 「紛争、貧困、環境破壊をなくすために 世界の子どもたちが語る20のヒント」(合同出版)
- 3 主題設定の理由 (ねらいとする道徳的価値について)

よりよい生き方を求めるために、現状に甘んじることなく向上心をもち、さらに高い目標をもって、そのために努力することが大切である。努力の過程には、苦労や困難がつきものである。それを乗り越えていくことで、達成感を得ることができ、喜びを感じることができる。よりよく生きるためには、夢や希望をもつことと不断の努力が必要である。また、12歳という発達段階をふまえ、闇雲に努力をし、与えられた課題を乗り越えることに終始せず、ビジョンや目的意識をもった努力の大切さについても考えさせたい。

本資料は、紛争に生きる子供達、環境破壊や差別とたたかう子供たちが将来をどう考え、生き抜いているかが描かれている。また、その親の視点からも、子供の将来についての思いが語られている。未来をつくる世界の子供たちが、そのようなビジョンをもって将来を考えているのか。国をこえて伝わるそれぞれの思いから、学ぶことの意義や将来への希望について考えさせたい。

- 4 本時のねらい
より高い目標に向かって、希望と勇気をもって、困難にもくじけずに努力しようとする心情を育てる。
- 5 展 開

	学習活動と中心発問 (・予想される児童の反応)	○指導上の留意点
導 入	1 各国の「将来の夢ランキング」を見てに感じたことを話し合う。 (1) 世界のみんなが感じたことは何ですか ・どこの国の子供たちも夢をもっている ・どんな環境でも、夢をもっている子供たちがいる など 2 本時の授業のテーマを提示する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ぼくらはなぜ勉強するのか</div>	○主題に関する関心を高め、価値への動機づけをする。 ○本時で考えていきたいテーマを示し、授業の後半に一人一人の答えを考えていくことを伝える。
展 開	3 教材を読んで話し合う。 (1) マヤニくんは学校に通えないかもしれないのに、なぜ勉強をしているのでしょうか。 ・もしかしたら、また学校に通える日が来るかもしれない ・医者になりたいという大きな夢を捨てたくないから ・勉強をしていれば、夢への可能性が広がるから (2) なぜイズマエルさんは息子に勉強してほしいのでしょうか ・自分の希望を息子にたくしたい。 ・勉強することで現状を打開できる。 ・なりたい自分になってほしいから 4 これからの自分の在り方について考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">(1) わたしたちはどうして勉強するのでしょうか</div>	○国の様子や生活環境の説明は最小限にし、子供達の言葉や思いを中心に教材を提示するようにする。 ○映像資料等を示し、自分達とは異なる環境に生きる子供たちの様子について理解できるようにする。 ○導入で示したテーマに沿って考えることができるよう、視点を示す。
終 末	5 様々な環境に生きる、数多くの世界中の子供たちの夢にふれる。	○同じ時代を生きる子供達から、未来への希望を感じとらせる。

- 6 評価
 ①将来に希望をもち、ビジョンをもって努力することの大切さについて、教材を通して考えている。
 ②自分達はなぜ学んでいく必要があるのか、自分なりの考えをもっている。

道徳科学習指導案

平成30年6月23日(土) 第2校時
八丈町立三原中学校全学年 計28名
授業者 教諭 峯重 透

- 1 主題名 「強い意志」(内容項目 A 希望と勇気, 努力と強い意志)
- 2 資料名 「もう一つのゴールネットー京谷和幸ー」
- 3 主題設定の理由 (ねらいとする道徳的価値について)

人間としてよりよく生きるには、目標や希望をもつことが大切である。中学生の時期は、自分の好むことや価値を認めたものに対して意欲的に取り組む態度が育ってくる。しかし、障害や困難に直面すると簡単に挫折し物事をあきらめてしまうこともあり、理想どおりにいかない現実に悩み苦しむこともある。そこで生涯を掛けての理想や目標をもつことが、日々の生活を充実することにつながる大切であることに気付かせたい。

4 本時のねらい

互いの悩みの解決について考え合うグループエンカウンターを通して、悩んでいるのは一人ではなく、誰もが似た境遇の中、目標達成に向けて努力していることを知る。さらに資料から困難に屈しないでねばり強く最後まで着実にやり抜こうとする心情を育てる。

5 展開

	学習活動と中心発問 (・予想される児童の反応)	○指導上の留意点
導入	1 本時の学習内容を知る。 ・誰の悩みでしょう？	
展開	2 エンカウンター「こちらお悩み相談室」を行う。 ・エンカウンターの目的を知る。 ・進め方やルールの確認を行う。 ・四人一組で活動をはじめる。 ・ワークシートを見ながら、感じたこと考えたことを振り返り、伝え合う。	○ウォーミングアップで教師が相談員の役を演じる。
	3 資料「もう一つのゴールネット」を読んで話し合う。 基本発問1 「初めての挫折に、深夜の病室で泣き崩れました。」とあるが、この時の京谷さんはどんな気持ちだっただろう。どんなことを考えていただろう。 ・自分の人生は終わった。 ・くやしい。 ・これからどうしたらいいんだろう。	○場面絵を提示しながら資料提示をする。 ○そのときの京谷さんの心情を考え、困難に直面したときの人間の本音をあげさせる。
	中心発問 必死にボールに食らいつく京谷さんはどのような気持ちだったのでしょうか。 ・第二の人生をまた始めよう。 ・ここでスポーツ人生を終わらせたくない。 ・子どもにとって誇れる父親になりたい。	○子どものためにがんばろう、という文章中の言葉を捉えつつ、京谷さん自身の行動がどんな気持ちの表れか、考えさせる。
	4 京谷さんの生き方を通して自分が感じたこと、考えたことを発表し合う。	○京谷さんのあきらめない気持ちについて考えさせる。
終末	5 教師の説話を聞く。	

6 評価

- ① 自分の考えを深めることができたか。
- ② 「自分はどうか」と考えたり、自分の経験を思い出したりして、自分について理解を深めることができたか。
- ③ いろいろな見方・考え方をしたり、ふれたりすることができたか。
- ④ 「これから～していきたい」という気持ちをふくらませることができたか。